

花巻歴史探訪 [郷土ゆかりの文化財編]

Trace the history of Hanamaki



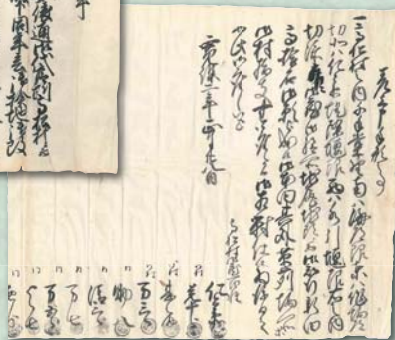
▼「差上申手形之事」
新渡戸傳助(恒篤)宛
ての高松村農民からの
同意書

新田開発の古文書

(新渡戸英一家文書)

新渡戸氏の 新田開発を伝える

▲「乍恐奉願上事」
用水不足のため、新渡
戸傳助(恒篤)が5年の開
田延期を申し出た文書



◆問い合わせ 花巻新渡戸記念館 ☎31-2120

この古文書は、新渡戸氏が主に高松村(現花巻市高松)で行った新田開発の過程や実態を知ることができ、貴重な資料です。

新田開発の手順は一定でしたが、高松村のような丘陵地は大規模な用水路を引けなかったため、ため池の水の確保が重要でした。古文書からは、用水の確保や草刈り場の問題、農民の同意など、新田開発に関わる数々の出来事が読み取れます。

●「新田開発」
新田開発とは、太閤検地(※1)以後に行われた新耕地の開発のことです。近世では、石高(※2)の増加を図るため積極的に実施され、盛岡藩でも用水施設の改修・新設など、藩直営の大規模な新田開発が進められていました。

一方、藩士に開発を実施させ、新田分をその知行(領地)に組み入れる小規模な開発は「藩士知行新田」と呼ばれ、新渡戸氏の新田開発もこの藩士知行新田でした。

花巻系新渡戸氏本家三代目義紹の子・常信は延宝5(1677)年、新田50石を開田して第三分家として独立。続いて義紹も貞享元(1684)年、新田100石を開田。その後、常信の子・恒篤は寛保2(1742)年に10石を開田し、第四分家として独立しています。

※1)豊臣秀吉が全国的に行った田畑の測量 ※2)その土地での生産物の量をコメに換算した表示方法

7月(本年累計・前年同期累計比)

■人 口	=99,193人(男47,149人、女52,044人)	■交通事故=人身事故	13件(101件・-4件)
■世帯数	=36,641世帯	死者	1人(1人・±0人)
○前年同期		負傷者	14人(125人・-11人)
人 口	=100,082人(男47,589人、女52,493人)	■火 災=火災件数	9件(38件・-5件)
世帯数	=36,411世帯	焼死者	0人(1人・±0人)
※人口・世帯数について詳しくは、本庁市民登録課		■救急活動=出動件数	319件(2,116件・-126件)
(☎24-2111内線408)へ		搬送人員	291人(1,891人・-128人)

花巻市 7月のデータ (7月31日現在)

広報
はなまき
Public Relation Magazine
一次回一
9月1日発行予定

No.222 2015年(平成27年)8月15日発行
[毎月1日・15日発行]
発行●花巻市 〒025-8601 岩手県花巻市花城町9番30号
☎0198-24-2111
編集●総合政策部秘書政策課
印刷●川嶋印刷株式会社

●花巻市ホームページアドレス
<http://www.city.hanamaki.iwate.jp>
●花巻市公式フェイスブック
<https://www.facebook.com/city.hanamaki>
●花巻市公式ツイッター
https://twitter.com/city_hanamaki



古紙を配合した再生紙を使用しています